

子ども会・育成会活動のためのお役立情報

はばたけ

97・98
合併号

2022. 4

この2年間新型コロナウイルス感染症の影響で活動のほとんどが
休止状態となり機関紙「はばたけ97号」は休刊となりました。
市町村子連の活動状況について案内を出したところ、コロナ禍でも様々な取
組みが寄せられました。寄せられた活動の特集として取り上げ、今回97・98号の
合併号として発行することとしました。

特集

コロナ禍に負けない！子ども会活動

福岡県子ども会育成連合会の福岡・北九州・北筑後・南筑後・筑豊・京築の6ブロック
がコロナ禍、独自に取り組んだ子ども会活動を紹介。

表紙の絵

日賀野兼一氏
飯塚市在住。九州産業大学芸術学
部美術学科卒業。第1回谷尾美術館
大賞展大賞を受賞
する等受賞歴は多数
現在、県子連図画コ
ンクールの審査委員
長・文化部会会員

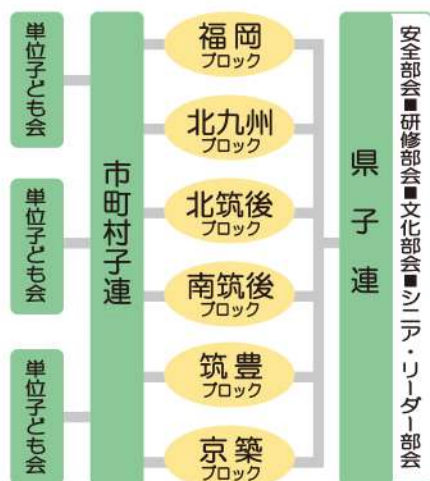




(福岡県子ども会育成連合会)

県子連って、 何しているところ？

県子連は1964年福岡県子ども会連合会として誕生しました。時代の流れとともに少子化問題や社会環境、自然環境が変化する中、時代に即した活動に取り組んでいます。図にあるように県下6ブロックから選出された委員が、安全部会・研修部会・文化部会・シニア・リーダー部会の専門部会で子ども会活動の支援をおこなっています。



■安全部会

子ども会活動を安全におこなうための、安全対策の研究と提供をおこなっています。



■研修部会

各子ども会を運営する子ども達のリーダー育成のためのジュニア・リーダー研修会の上級を春と夏の2回及びシニア・リーダー研修会をおこなっています。



■文化部会

機関誌「はばたけ」の発行とその他広報活動をおこなっています。



令和元年度
福岡県知事賞 小学2年生「堤」さん



令和2年度
福岡県知事賞 小学3年生「権藤」さん

令和4年度図画コンクールの応募を9月から予定しています。

■シニア・リーダー部会

子ども会の活動を支援するジュニア・リーダー（概ね中学生まで）を経験した後、その活動を引き続きサポートしたり発展させたりしようとする意欲のある高校生等を対象に研修をおこなっています。



○広域連携事業

九州地区子ども会ジュニア・リーダー大会、九州地区子ども会育成研究協議会等、全国子ども会連合会、九州地区の子ども会育成会と連携をはかって、子ども会活動の活性化と育成者の技能向上に取り組んでいます。

○県子連ホームページの開設

県子連では、ホームページを開設しています。県内で活動する単位子ども会の活動紹介もできますのでお役立てください。またご意見等もお寄せください。



県子連QRコード



一人一人がたくましく健やかに成長できるように



「力強い空手の練習風景(筑前修武館:筑前町)」



福岡県子ども会育成連合会

会長 原田 正文

令和2年春から新型コロナウイルスの影響により、県子連の行事もなかなかできませんでした。

10月から緊急事態宣言も解除され、12月5日(日)にシニア・リーダー研修会及び県子連表彰式を、12月19日(日)に本年度からの新規事業のジュニア・リーダーステップアップ研修会を実施することができました。

コロナ禍により人と人との交流が極端に制限されている中においても、できる範囲において、子どもが地域で安心して暮らし、一人一人がたくましく、健やかに成長できるよう魅力ある活動を展開して参りたいと思っていますので、ご理解・協力よろしくお願いたします。

◎県子連の行事

コロナ禍の中、次の事業を行いました。

○ジュニア・リーダー研修会

春季 ■3月27日(土) 1日研修

14市町から58名の参加

夏季 ■7月25日(日) 1日研修

17市町から59名の参加

○シニア・リーダー研修会

12月5日(日) 1日研修

3市から4名の参加
相手に理解・定着されるよう何を伝えるか、どう伝えるか、レジュメの作成から講師としての実践を学べる研修を行いました。

○ジュニア・リーダー

ステップアップ研修会

(令和3年度からの新規事業)

12月19日(日) 1日研修

5市から11名の参加
今回の研修は、コロナ禍でも新しいレクリエーションや改良を提案・議論する中で誰にでも的確に伝える力・発信力を養う研修をシニア・リーダーが企画・実施しました。

参加者は、中学生の時に受けたジュニア・リーダー研修以来久しぶりの研修だった、研修内容が新しく良かった、スキルアップできた、宿泊研修がしたい、との声でした。

WIN!



福岡県子ども会育成連合会6ブロック(福岡)



【荏田町】
荏田町子ども会育成連合会
■開催日：令和3年5月5日
■会場：馬場小学校体育館
■参加費：1人600円
■予算：35,000円
◎主に、ノート、パドミントンセット等の景品



【桂川町】
桂川町子ども会
指導者連絡協議会
■開催日：令和3年12月12日
■会場：桂川町住民センター
■参加費：1人100円
■予算：10,000円
◎主にビン、グルーガン等の材料費



◎スノードーム

筑豊ブロック

クリスマス プレゼントづくり

コロナに負けない

桂川町では新型コロナウイルス感染症対策を行いながら大切な人に向けた、クリスマスプレゼント「スノードーム」づくりをしました。当日は参加者11名と少数ながら、はじめて使うグルーガンに子ども達は悪戦苦闘。ようやくスノードームが完成し、子ども達は「キラキラして綺麗」と満面の

笑みを浮かべていました。そして日頃お世話になっている保護者へ、子ども達はメッセージカードを書き、感謝の想いを伝えました。子ども達の笑顔に触れ、指導者も一緒に楽しむことができました。行事はコロナ禍でも子ども達が体験を通して、新しい発見と成長に繋がることを願っています。これからも桂川町子ども会では、コロナに負けない活動をしていきたいです。



京築ブロック

京築 ジャンボカルタ大会

新型コロナウイルス感染症拡大の中、子ども達の心身健康、地域の文化、ふれあい交流を目的として、実施いたしました。三密にならぬ様に、換気、各チーム時間差で集合して試合に臨んでいたできました。

大きいかるたを持ち上げるのに苦労していました。走って、見つ

けて、取り上げるの繰り返しでした。結果は低学年が高学年に勝ちました。驚きました。大人もしましたが、中々見つけることができず、ぶつかる事もありました。仕舞には足で捕まえている人も出てきて、レッドカードを貰っていた人もいたりして楽しく過ごしました。

カルタ作成にあたっては、地元の段ボール会社に協力をいただき、絵は拡大コピーをして段ボールに貼り付けました。





【大牟田市】
大牟田市子ども会
育成者連絡協議会
■開催日：令和3年8月1日
■場 所：リフレスおおむた
■参加費：1人500円
■予 算：15000円
◎主に弁当代、教材費等
◎年3回のうちの1回目

**南筑後ブロック
コロナ感染予防を
考えたゲームづくり**

8月1日にイン・リーダー養成講座を行いました。今回は接触や密集を避けるため日帰りで、昼食は弁当で行いました。受付は密集を避けるために間隔を空けて着席したままで消毒、検温等を行いました。アイスブレイクも、席に座ったまま行える指遊びなどを行いました。活動1では、グループに分

かれて、コロナ感染予防を考えたゲームについて話し合いました。1班は、「ユーホーゲーム」のスリルを生かしたゲームを試行錯誤しながら「ユーホーリレー」を考案しました。スリルもあり、間隔を取ってペアで運ぶなど、ルールも分かりやすく、活動2ではみんな楽しく遊べました。

「みんなで工夫を凝らす時は、とても楽しかったし、勉強になった。」と話していました。



Youtube動画のQRコード



◎レスリング

【筑前町】
筑前町子ども会
■「子どものつどい」の活動PR動画を製作し、ユーチューブで動画配信
■予 算：なし
◎事務局員が撮影から編集までおこなった

**北筑後ブロック
2021「子どものつどい」を
Youtubeで開催！**

筑前町では毎年、町内の子どもを一堂に会して『子どものつどい』を開催しております。

本年はコロナ禍により『つどい』の開催はできませんでしたが、この環境下でも、様々な活動で頑張っている子どもの姿を紹介するため、今年はスポーツ少年団等11団体を撮影し活動動画を作成しました。

動画は筑前町のYoutubeアカウント「筑前町公式動画」にて公開しています。

昨年はTOKYO2020オリンピック・パラリンピックで日本中が盛り上がりました。筑前町でも子ども達が日ごろ切磋琢磨し活動に取り組んでいる様子を、より多くの方に見ていただき、福岡県の活力にしたいと考えています。是非、ご覧ください。



……コロナ禍に負けない！子ども会活動



【中間市】
中間市子ども会育成連絡協議会
■開催日：令和3年10月17日
■会場：遠賀川流域 中島
■参加費：なし
■予算：なし
◎参加費、予算は国交相主催事業として国が負担。
◎10月31日発表資料を作成



【福津市】
福津市子ども会育成会連合会
■開催日：令和3年2月14日
■会場：なまずの郷大規模公園
■参加費：なし
■予算：363,779円
◎風キット購入費、会場利用費等。
◎風キットは希望者全員に工作用として配布。

熱心に生物を観察し、資料を作成する子どもたちからは、「中島は自然がたくさんあって珍しい植物やきれいな花、動物がすみやす

会を開催しました。

北九州ブロック 遠賀川流域 リーダーサミット

北九州ブロック

遠賀川流域

リーダーサミット

いところだと思った。「ススキの一種の荻（オギ）の草原やいろいろな植物、魚がいるところが、中島の良いところだと思った。」「見たことのない植物や水生生物を知れてよかった。説明を受けたのでよくわかった。」などの声がきけました。また、発表資料作成などの様子が令和4年2月6日以降にYouTubeでアップロードされますので、是非ご覧ください。



令和2年度はスタートと同時に事業の全てが中止となってしまいました。しかしすべてを中止してしまつのは、子ども達にとつて残念な事だということになり、ソーシャルディスタンスを保ちながら屋外で楽しめる行事が無いものか、役員会議で協議した結果、毎年2月におこなっていた「カルタと

福岡ブロック 子どもフェスティバル 手づくり風あげ大会

福岡ブロック

子どもフェスティバル

手づくり風あげ大会

将棋大会』に変えて、自分で作ったオリジナルの風で「風あげ大会」をしようということになりました。当日は快晴。風あげ日和で子ども達は自分で作った風に好きな絵を描いて風あげをしました。コロナ対策を万全に、4つのグループに時間分けをしておこないました。また当日時間が合わない子ども達は、時間が合う他の校区で参加が出来るようにして270名の参加がありました。

